

II 院内教育体制の整備・充実支援

II-6 離島就業看護職員研修

II-6-1 離島就業看護職員研修

- 目的：離島就業看護職員の抱える課題、ニーズ等について研修会を開催し看護職員のキャリアアップ、看護の質向上を図る。
- 対象：離島の福祉・保健・医療関係者等
- 開催期日：7月～11月（各離島 1回/年）
- 定員：40名/地区
- 受講料：無料
- 会場：新上五島地区・五島地区・老岐地区・対馬地区
- 研修内容：各地域のニーズを検討し、時期・内容等決定する。決定後、開催案内を発送。

※申込書は、該当施設へ別途お送りします。

II-6-2 配信研修

- 目的：研修機会を増やすためあじさいネットのTV会議システムを使用し、当センターで行う研修（各離島が希望する研修）を配信し、看護職員のキャリアアップ、看護の質向上につなげる。
- 対象：離島の福祉・保健・医療関係者等
- 開催期日：適宜
- 定員：20名程度
- 受講料：無料
- 会場：新上五島地区・五島地区・老岐地区・対馬地区のあじさいネットが使用可能な施設。
- 研修内容：離島支部と調整し決定する。

地区	新上五島地区	老岐地区	五島地区	対馬地区
開催期日	10月13日(火) 16:00~18:00	12月19日(土) 13:30~15:30	11月28日(土) 13:00~16:00	1月16日(土) 13:00~15:00
研修テーマ	フィジカルアセスメント (オンライン研修)	高齢者のフレイルについて (オンライン研修)	精神疾患患者の特徴と対応 看護職員の関わりの中での課題	褥瘡の予防について (オンライン研修)
講師	佐世保共済病院 集中ケア認定看護師 高橋智司 先生	光晴会病院 管理栄養士 篠崎彰子 先生	長崎県五島中央病院 精神科医師 田山達之 先生 副看護師長 松下貴大 先生	佐世保共済病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 前田紹美 先生
開催場所	長崎県上五島病院 ※配信はキャリア	長崎県老岐病院 ※配信はキャリア	長崎県五島中央病院 講義室	長崎県対馬病院 ※配信はキャリア

今後この研修をどのように活用するか

- フレイルという言葉聞いたことがなく、今回研修に参加し詳しく学ぶことができた。
- 介護者に目がいきかちだが、今日学んだことを参考に他職種と協働し予防等に役立てていきたい。
- 退院支援で退院前カンファレンスの際、独居の患者さんも多いので食事内容、軽い運動など在宅へのアドバイスとなる内容をさらに提供できるようにしていきたい。最後まで口から食べることの大切さを事例を通して改めて感じた。
- 行動や食事に関して、変化を少しでも早く気付けるようになりたい。
- フレイルということで自分たちが何に取り組みめよいのか、とても良いお話が聞けた。がんの方に握力を測定したり、義歯がある人にはなるべく義歯を使用していただく、使用できない場合は歯科往診につなげることなど考えさせられた。ぜひ今後も活かしていきたい。

担当利用者の対応、理解の参考にしたい。

- グループワークは、他施設とのコミュニケーションが回れ、顔見知りが増えてきたことで、島内間の多職種連携が行いやすくなった。
- また、当院だけでなく、色々な症例が聞けて幅が広がった。連携時の配慮ポイントがつかめた。
- 訪問看護師とPtさん1対1での関わりの中で、日々悩みながら、満足されているのか？不安があった。これから役に立てていきたい。
- 状況に応じた対応など、とても参考になった。
- 先生の話し方がゆっくりで聞き取りやすく、こんな風に話をしないとダメだなあと思った。
- 精神科患者に関わらず、一般病棟の認知症の患者とのコミュニケーションの取り方にも活かしていきたい。アドバイスが命令にならないよう、先入観や思い込みだけで話さないよう掛けていきたい。「言葉を間違えると支配的になる」刺激を受けた。

- 今回のフィジカルアセスメントは、すぐ分かりやすく実際にやっていきたいと思った。
- 今後、実際にフィジカルアセスメントを活用しながら、患者さまに関り、異常の早期発見に努めていきたい ×2

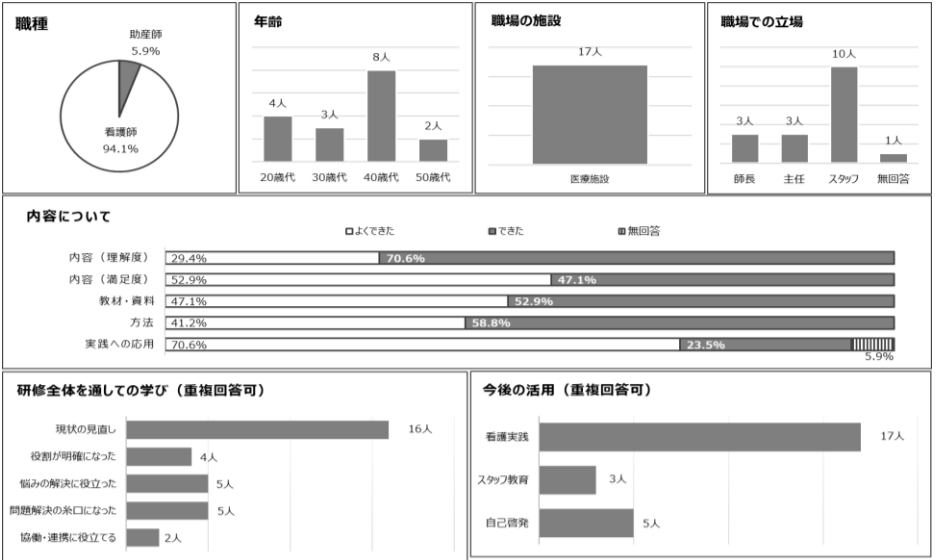
- ボジョニングで活用する。
- 介護スタッフと一緒に今回学んだことを活かしていきたい。
- 今までの症例を見直し、今回の研修結果を踏まえて検討していきたい。背抜きは定着は難しいこと、積極的な働きかけが必要と分かった。
- 今後のボジョニングや背抜き、足抜きをスタッフ全員で実施できるように勉強会などを行ってみたい。
- 褥瘡、ボジョニングチームを中心に業務改善に取り組み見直しができる。知識が豊富になった。

【まとめ】

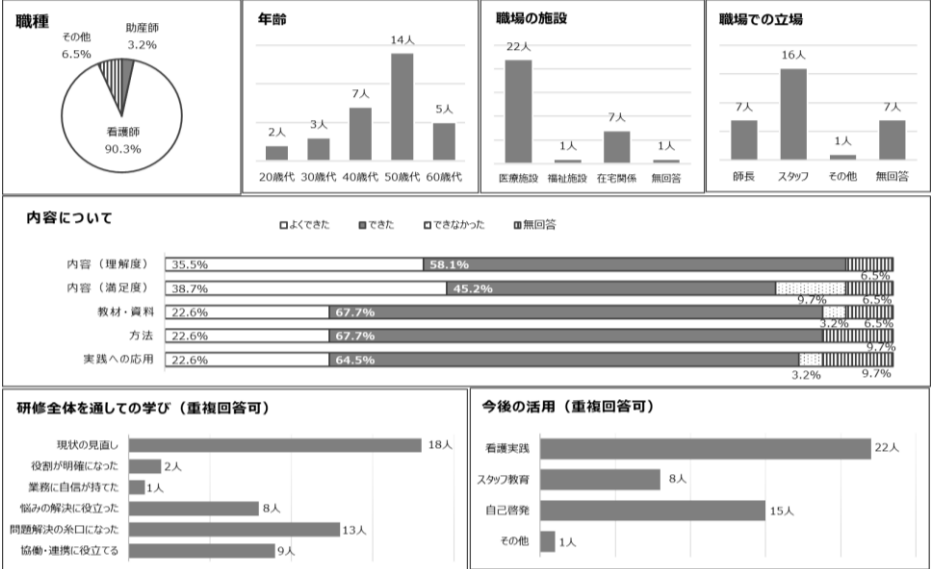
今年度の離島就業看護職員研修は、フィジカルアセスメント・精神疾患患者の特徴と対応 看護師と患者の関わりの中での経験談・高齢者のフレイル・褥瘡の予防についてを行った。各島島内で必要だと思う研修を企画しており、参加者も15名から30名だった。コロナの影響で1島以外はオンラインで実施した。看護技術を展開したほうが良い内容もあったが、質問などを通して援助方法を学ぶことができ対面ほどではないが理解は得られていた。島内の看護職員は医療施設からの参加が多かったが、福祉施設・訪問看護などからの参加もあり交流が図られていた。今年度は4島とも1回の開催だったが、オンラインが可能であることを検証できたので、次年度はニーズを確認しながら、回数を増やすなど検討していきたい。

離島就業看護職員研修

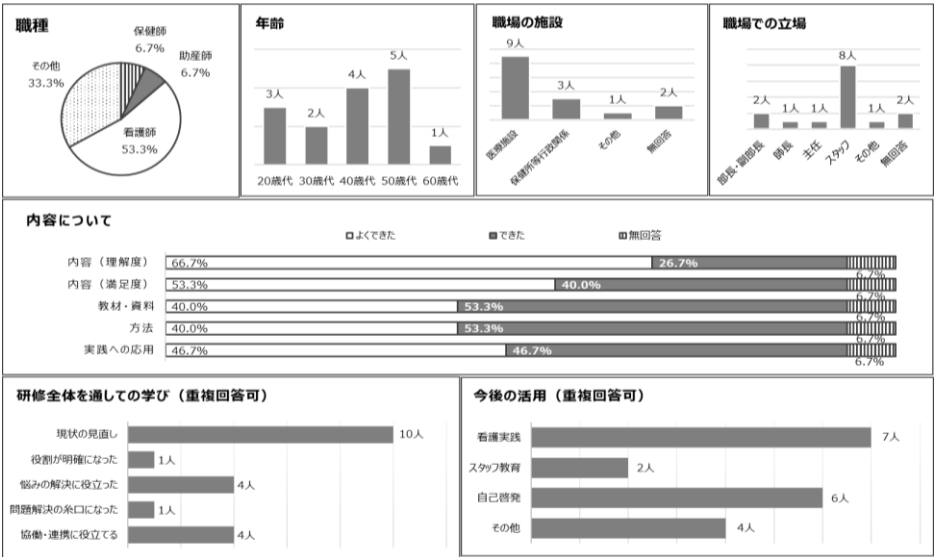
地区 新上五島地区
開催日 令和2年10月13日オンライン
研修内容 フィジカルアセスメント
受講者数 21名



地区 五島地区
開催日 令和2年11月28日
研修内容 精神疾患患者の特徴と対応 看護師と患者の関わりの中での経験談
受講者数 33名



地区 老岐地区
開催日 令和2年12月19日オンライン
研修内容 高齢者のフレイルについて
受講者数 15名



地区 対馬地区
開催日 令和3年1月16日
研修内容 褥瘡の予防について オンライン
受講者数 30名

